

11月7日、1，2年生が大型バスに乗って社会見学に出かけた。そして、高学年の温水プールでの授業が始まった。そのおかげで、一時ではあるが、学校に残っているのが3年生だけになった。20分休みの運動場は、3年生が独占した。3年生のテンションはかなり高く、運動場を走り回ったそうだ▼ちなみにその3年生は、昨日いなべっ子さんへ見学に出かけた。明日は、「阿下喜楽」に取り組んでいる6年生のうち、2グループが、市役所と伊倉の城跡にそれぞれ、聞き取りと探求に向かう▼20坪の教室だけでは、学べないことがある。しかし、教育現場に電子機器が導入されたことで、タブレットでたくさんのことが検索できる。便利である。その便利さは否定しないが、生きた学習材（地域の人・もの・こと）でこそ、子どもの感性を揺さぶり、みがく▼6年生が取り組んでいく「阿下喜楽」では、敢えて「検索」を禁じている。子どもたちは、書物を読み、現地に出かけ、人を訪ね、人に聞く▼「プロセス」を大切にすることとは、完成形を求めないことでもある。プロセスの中にこそ、子どもの学びがあるからである。実は、今日は11月12日。明日は、3年生が「豆腐作り」に挑戦する▼「プロセス」を大切にすることとは、学びをたのしむことでもある。1，2年生の芋ほり、5年生の脱穀・・・20坪の教室から出た学びはまだ続く。